



くわた 恭子通信

http://kyoko.moo.jp
zxyoko@yahoo.co.jp

[無所属]

発行日 H29年7月14日
発行者 広島市議会議員
くわた 恭子
〒731-5153 佐伯区河内南2-30-2
TEL929-2930 FAX929-2928
OPEN 9時~17時(月~金)

地域の皆様 お世話になります。市議会議員のくわた恭子です。6月議会の報告をお届けいたします。今回は一般質問の内容を中心にです。また下記のように報告会を行います。地域の意見をお聞かせ下さい。

7/31月	藤の木公民館
8/3 木	五日市観音台公民館
8/4 金	薬師が丘集会所
8/7 月	八幡東公民館

くわた恭子
車座懇談会
開催時間
19:00~20:00
問合せ先
929-2930



6月27日 一般質問

お誘いあわせの上 気軽に
ご参加下さい

8月6日登校日は今後も続けるべき！ 市条例を適用、教員8/6が休日になる…

厳密には、広島市小中学校の8月6日は、今までも登校日ではない。教育委員会が、10年前から登校することを指導してきたものです。今年のように日曜日となる年は8月6日の登校を実施していません。しかし、4月より教員は広島市職員となっています。今後は8/6休日の市条例が適用され、8月6日に登校することは不可能になります。教育長は、その日に登校することが出来なくとも平和教育が損なわれることなく他の日に振り替えて学習すれば後退はしないと、

条例改正を含め、今後8月6日 登校日とすることについてどう考えているのか

については、学校関係者から了解が得られたので休日として整理した。しかし、核兵器禁止条約の制定交渉会議が進展する中、8/6への注目も高まり平和学習への関心も高まることから改めて検討しておいた方が良いのではと考え国等と協議を行いたいと答弁しました。

被爆年月日時の正解率 (%)
意識実態調査5年ごとに実施

	小学校	中学校	備考
平成7年	55.7	74.7	被爆50周年
平成12年	35.2	63.0	
平成17年	49.6	67.6	被爆60周年
平成22年	33.0	55.7	
平成27年	75.3	78.3	被爆70周年

表は、昭和20年8月6日8時15分を正確に答えられた児童生徒の割合です。平成25年に平和教育プログラムを作り実施したことが正解率の向上につながったとしています。

基礎知識は定着しているのか目標値は？

平和学習の目的は、事実を通し未来を志向し平和社会の形成者としての能力を持つこと。目標値を設定する性格のものではない年月を丸暗記すればいいというものではない

皆様の意見をお寄せ下さい

(1)

(2面につづく) →

動き出した高齢者いきいき活動ポイント事業

ポイントは活動の奨励金 元気に活動しないともらえない

もともとは、平成5年から広島市高齢者公共交通機関利用助成制度として、70歳以上の高齢者に年間8640円をタクシー券や、バス回数券として支給してきたもの。現在の支給額は6000円
平成28年度の決算額は約6億円です。20年以上継続した事業だが、本来の目的通りの使用がされているかどうか検証することができないとして、当面、交通助成を3000円に減額、ボランティア活動や介護予防、健康増進に資する活動の奨励金として1ポイント100円を交付する制度に9月から移行、70歳以上の方にはポイント手帳が送られてきていると思います。

制度に問題があったとする交通助成制度、タクシー券を利用して病院や買い物に行くのは本来の目的では無いとの認識、どのように目的を伝えていたのか

そも
そも

具体的な内容は記載していないが、公布を受けた高齢者本人が利用することを明示することで、日常的な利用が主目的になることはないかと判断してきたと答弁

月
勝手
に

なんとも勝手な解釈、平成5年6月8日付、当時の資料にも詳しい利用内容についての明記はない。これにより、本来の目的に沿った利用がされていないとするのは無理があり、制度を変更する理由が揺らいでくる。

決
め
つ
け
た

既に制度は変わりポイント事業は動き出した。登録団体の説明会も盛況のうち終了した。1ポイントは100円の税金で、印紙を押す主催者の責任を心配する声もありました。利用者は限定的で全体の介護予防に効果があるのか... 運営に当っては、地域も行政もかなりの煩雑な事務作業を行うことになる。先日の制度案内も死亡した人126人に誤送付してしまっている。今後も注視する必要がある

1面からの続き

長崎県は昭和46年から登校日、日曜日でも登校する

長崎市教育委員会に確認すると、長崎県は8月9日は、曜日に関わらず全小中学校で登校日「8月9日は、8月9日曜日は関係ない」と担当課が答えました。平和教育基本3原則に基づき方針をしめして38年が経過、改めて平成28年度意識調査を実施、原爆投下の日時についての正解率は、小6年生で88.9%中3年生で91.8%です。普遍的で妥当な平和教育を推進するとし、平和の大切さを発信できる児童生徒の育成に努めつとしています。

広島市の平和教育も評価が高いところですが継続においては、長崎に学ぶところがあると思う。

新人議員の時「8月6日8時15分」を正確に伝える児童が3割程度いないというのは許せないと質問し8月6日を登校日とするよう求めました。答弁は、早期に実現できるように指導してまいります。平成18年に登校日はじり10年が経過しました。登校日にこだわらなくとも良い平和教育はできる。現場の意見は承知しています。被爆の継承が難しくなる中で、8月6日をどのように過ごすかは益々大切になってくる。教育長は、日時を丸暗記すれば良いという物ではないと言われた。日時はすべての子ども達に丸暗記してもらいたい。平和教育の不可欠な要素です。大人には8/6も普通に働けるわけではない。他県に行けば、さらに周りの意識は薄い。だから小中学校では8/6、その日を大切に過ごしてほしい。



広島市中央市場

不法駐車取り締まりの入場証料金は市OBの人情費

中央市場には、青果、水産、花き各部門の卸売業者、売買参加者や関連業者など場内関係事業者で構成した広島市中央市場連合会があります。今回質問したのは、この連合会が発行している入場証とそれに伴う収入の用途についてです。中央市場には約4500台の車が出入り、不適切な駐車を取り締まるため広島市が広島市中央市場連合会に入場証発行の事務作業を86万4000円で委託し、関係車両に年間500円から3000円のお金を徴収し配布しています。それによる平成29年度の収入は約700万円です。

700万円の用途は、入場証交付業務、駐車場巡回業務、新規、既存事業の充実、建て替えに伴う場内調整、事務局の体制整備費と総会で説明。約600万円が広島市OB職員を専務理事で迎える給与等になっています。



午前4時～6時、現場を確認
混雑の様子は感じなかった

広島市が委託した通行証に連合会が料金を設定し徴収

Q 市OB職員の人情費とすることは問題ないのか

との質問に、OB職員の給与はあくまで、連合会の会費から出金されていること、長年の懸案の改善策の一つ、連合会が自主的に行っているものと答弁しました。

これまでも入場証は広島市が無料で発行しています。今年度から有料となりました。そもそも駐車場は混雑していない。入場証料金などせず、人情費が必要と会費を値上げすればよいことです。おかしな運営に広島市も加担しています。

広島市議会議員 詐欺疑いで書類送検

緊急に幹事長会議を開催したが…

安芸区の市議会議員が、7/6政務活動費を不正に受取ったとして検察に書類送検されました。報道では、3年間にわたり、複数の女性事務員を雇用したように装い、給与を支払ったとするその領収書を所属会派に提出し、350万円余りを受け取ったとされる。女性は働いてもらえないし、給与も受け取っていない、頼まれて書いたと証言したとある。

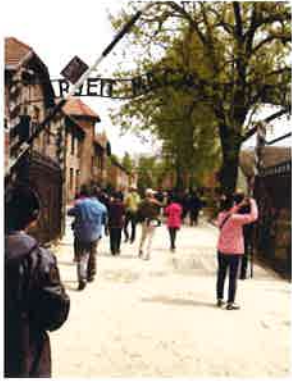
このことを受け、会派で議長に対し3回目の申し入れを行い、本人の説明責任と議会としての自浄作用を発揮するよう求めました。議長は、緊急に幹事長会議を招集、7/7の10時から本人を呼んで説明をする場を設けるとしました。公開、傍聴も可能でしたので傍聴しました。

本人の説明の場とされましたが、会議は全体でも20分弱、出席者は12人ですが、質問者は議長以外は2人だけでした。

本人の説明も、冒頭お騒がせしたことをお詫びすると述べたが、その後は不正に受取った事実はない。刑事事件であれば書類送検はすべての手続きとして行われるもの、捜査中なので事件にかかわることはコメントを差し控えるを繰り返しました。開き直っているように見えました。議長も市民に対しての説明は今日の会議が全てになるとコメントを出している。何のための会議だったのか、捜査を見守るしかないのか・・・

個人的な
視察ですが

アウシュビッツ国立博物館を訪問



5月、個人的な視察ですが、ポーランドのアウシュビッツを視察しました。左の写真、「働けば自由になれる」の文字のゲートをくぐり収容所に入ります。素朴なレンガの廃墟は、収容者が建てたもの、過酷な長時間労働でほとんどの収容者が3か月以内に死亡したという。

天井の低い、多くのユダヤ人をはじめ政治犯が惨殺されたガス室にも入る事ができる。天井に空いた四角い穴から毒ガスチクロンBを投げ入れた。なお、生きようとする人の群れは上へ上へと逃れ、死体は山になっていた。絡まった死体を外すとき、手足がちぎれることもあったのだと聞くと、今見たこの部屋を忘れることはないと感じました。

私は当時のことを体験した人間ではない。まして日本人である。体験談と語りとはできない。だから聞き通って歴史とどう伝えいくのか役割である」と…
耳に残った彼の言葉で

訪問者は若者も多くドイツやイスラエルの学生は学習で訪ねる。日本人は高齢者が多いとの説明…



おびただしい数の毒ガスチクロンBの缶詰



第2収容所ビルゲラの屋根が崩れたガス室



ビルゲラの収容棟1段に5人が寝ていた

原爆資料館にも公認ガイドを…



アウシュビッツ強制収容所は国立博物館です。公認ガイドは国家公務員。写真はガイドの中谷さん。ポーランド語で受験し合格したただ一人の日本人ガイドです。予約はすべてオンライン世界中から予約が入ります。ここを訪れる日本人は年間3万人。世界中からは、2016年の数字で過去最高の205万人が訪れます。

博物館には多くのガイドがあり、多国籍、多言語に対応しています。通常でも3時間半かかる見学が分かりやすく進行するのは、母国語の質の高い説明だからです。ガイドの力を改めて感じました。広島市の平和資料館も意識の高いボランティアガイドに支えられています。225人のガイドは60~80歳代が大半、平均年齢は65歳。外国人のガイドはいません。広島市は、公認ガイドの必要性は感じていないとの答弁ですが、ボランティアガイドを否定しているのではありません。若いプロのガイドを養成する必要を求めているのです。



先の6月議会をもて、統務委員長の仕事は終了しました。任期初めは、サッカースタジアム検討の議論もある程度活発でしたが、今は担当課に報告を求めても特に報告の内容はふたつの返事で、スタジアム建設から遠のいた感じ。その他、所得税法56条廃止の請願も長年放置のままで、委員長はあまりにも引き続き取り組んでおり、6月からは、監査委員にお願いして